

オープンピット工法〈開削型自走式シールド工法〉

本工法は、自走機能を持つメッセルシールド機の開削型を用いて掘削・基礎・函(管)渠の布設・埋戻の各作業を連続して行う画期的な管渠埋設工法です。函(管)種を選ばず、在来工法では施工困難な条件下で大きな威力を発揮します。

●特長

1. 無振動・無騒音の土留工

メッセルシールド機は、全て油圧操作で推進しますので、振動・騒音とも発生しません。

2. 幅広い地質に対応

N値0の軟弱シルト層から杭打ち不可能な転石・巨礫層に至るまで多くの実績を持ち、特に土質条件の制約を受けません。

3. 曲線施工・段差工が可能

ジャッキ操作により、曲線施工が容易にできます。また、段差工の実績も数多くあります。

4. 工事延長が伸びるほど高い経済性

比較する土留工によって差がありますが、通常施工延長が100m～150mを越えると在来工法よりも経済性に優れ、コストを縮減できます。また、近年では障害物のない地域・区画整理などの工事にもコスト削減の一助として活躍しています。

5. 急速施工による工期短縮

鋼矢板などを使用する在来工法と比較して施工が速く、1/2～1/3の施工期間で実施されています。またシールド推進に伴って開口部が移動するため、沿線住民への影響が少なくすみます。

6. 家屋への影響が少ない

在来工法と比較して杭の根入れがないため、周辺家屋への影響が少なくすみます。



フリーサイズ型枠

内空高・内空幅は100mm単位部材厚は10mm単位で調整が可能です。

●特長

1. 現場条件に基づき、経済的な断面を算出致します。

2. フリーサイズの型枠を使用するため型枠償却をせずに断面形成が可能です。

3. 施工方法に最適な形状をご提案致します。

4. 偏平断面や矩形などにも対応できます。

5. 小径断面用のフリーサイズ型枠もあるため600×600から対応しております。

